

社会医療法人智徳会

₹020-0401 盛岡市手代森9-70-1 電話番号 019-696-2055 FAX 番号 019-696-4185

平成28年4月発行

No.11

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ



理事長 智田 文徳

各関係機関の皆さまには、平素より大変お世話になっております。

さて、当院における地域医療連携室の取り組みも今年で4年目を迎えることと なりました。お陰様で、ご紹介いただく患者さんの数は順調に増加しておりま す。その中でも10代の患者さんのご紹介が多く、地域のニーズが統合失調症を中 心とした従来のものから、発達障がいや虐待などのトラウマ関連疾患へと変化し てきています。これからも、関係機関からのお問い合わせ、ご紹介に対して、遅 延なく適切に対処できるよう、職員一同気を引き締めて参りたいと思います。

今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。



事務部長 平原 昇

各関係機関の皆さまにはお世話になり感謝申し上げます。

さて、今回の診療報酬の改定では「病床の機能分化・連携」や「かかりつけ医 機能」等の充実を図りつつ、「イノベーション」、「アウトカム」等を重視し、 地域社会に質の高い効率的な医療の提供を実現していくことを目指しています。

当院におきましても、2016年は「精神科救急病棟」及び「地域移行強化機能 病棟」の運用を開始し、それに合わせて医療機能や患者さんの状態の評価を行な い、更なるチーム医療・多職種連携の推進を行なって参ります。また、アウト リーチを中心とした地域生活の支援体制を強化し、個々の患者さんへの医療の質 を更に向上させていく事を考えています。

皆さまには更なるご支援を宜しくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

- 1. 私たちは、常に笑顔を絶やすことなく最高のサービスを提供します
- 2. 私たちは、「ひとの心の痛みに涙する」温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
- 3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
- 4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
- 5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
- 6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
- 7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
- 8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

ごあいさつ



看護部長 古川 厚

関係機関の皆様には日頃より大変お世話になり感謝申し上げます。

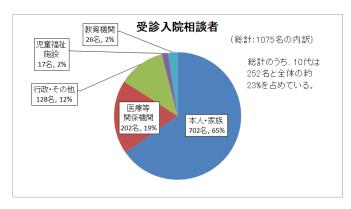
さて、2016年度診療報酬改定では長期入院の退院支援(地域移行機能強化病棟)、身体合併症の治療や受け入れの評価、また児童思春期外来の評価などが新設されました。その中で、地域移行機能強化病棟は長期に入院している患者さんに対して退院支援や地域生活支援を積極的に行い、結果として長期入院患者数と病床数が減少することを期待するものです。平成16年の精神保健医療福祉改革ビジョンでは10年で72000床の病床削減を目標にしましたが達成できませんでした。当院では平成16年の病床数は504床で、約10年かけて123床削減し381床にしました。そして4月から療養病棟を地域移行機能強化病棟にかえて更に病床数を削減していくところです。長期入院者の退院者数が月平均15%以上、専従の精神保健福祉士や作業療法士の配置、退院支援カンファレンスの実施などハードルが高いですが多職種で力を合わせて頑張っていきたいと思います。

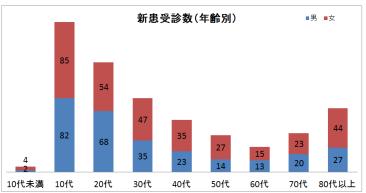
今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年度地域医療連携室相談状況

昨年度も多数の受診入院相談を頂きありがとうございました。 特に10代の相談が増えており、全体の23%になっております。

皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、新規の受診予約については 2ヶ月ほどお待ちいただいている状況です。 行政等からの急な受診入院相談には出来るだけ早期対応を心がけますので、引き続き地域医療連携室を通じてのご相談をよろしくお願いします。





地域医療連携室・外来のメンバーです。よろしくおねがいします。





トピックス

今回は、これからの暮らし支援部の医療福祉相談室と社会復帰支援室です。

医療福祉相談室~地域移行機能強化病棟のご紹介~

平成28年4月より「地域移行機能強化病棟」を開設いたしました。この病棟は、概ね1年以上の長期入院者の退院調整や支援を行う病棟であり、地域生活移行に向けた調整・生活訓練に更に取り組んでいくものです。施設基準に則り専従のPSWを3名配置しました。

当該病棟の主な取り組みは、以下の通りです。

- ①行政機関・相談支援事業所・障害福祉サービス事業者・ピアサポーター等、外部支援者の方との交流機会を通じた退院意欲の喚起
- ②日常生活に必要な能力を習得する訓練や外出等、地域生活を念頭に置いたプログラムの実施
- ③退院後の医療の確保
- ④居住先の確保・試験利用や生活訓練の実施
- ⑤退院後の生活に関するサービス調整

月1回以上の状況確認「退院支援委員会」開催と「退院支援計画書」の立案を行い地域移行を進めていく事になります。また、「退院支援委員会」には広く関係機関のご出席を依頼することが謳われていますので、御理解御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



社会復帰支援室~ディケア新チームのご紹介~

今年1月から新設した「いなほ」チームを紹介します。

「いなほ」チームの特徴は、精神症状が概ね安定している若い方が多いです。具体的には、主治医から「いなほ」チームでの活動許可の出た方で、リカバリー(回復し新たな自分を見つける事)を目指している方、自主性を育みたい方、ステップアップするために目的を持った方に向いています。

具体的にプログラムを紹介します。(詳細はホームページを参照下さい)

- 「こころの天気予報」・・・集団認知行動療法のセッション
- メンバーミーティング・・・メンバー自身がデイケアのことについて話し合う
- プロジェクト・・・メンバーが主体となってプログラムの企画行う
- 座談会・・・持参した飲み物を飲みながら ゆったりと情報交換を行う
- Let '脳トレ・・・「脳」を活性化するプログラム
- りかば・・・リカバリーについて学び合う心 理教育プログラム。
- 就労支援プログラム・・・復職・再就職を希望する方のプログラム。

4月から新たに、アクティビティ・THE☆エクササイズ・リラックスといったヘルスプロモーション系のプログラムを、外部講師をお招きし、「園芸活動(植物の種まき)」、「椅子を使ったヨガ」、「木のアロマオイル石鹸作り」等、充実した内容を提供して参ります。

お問い合わせは、社会復帰支援室までお願いします。



~新規の受診・入院相談~

119-696-2055 にお電話下さい。 相談時間

平日:9:00~16:30

土曜:9:00~12:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室 外来師長 砂 と ご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際に は、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL: http://www.i-seiwa.com/chiikiiryorenkei.html

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	菊地医師	八重樫医師	田嶋医師	佐々木医師 石川医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木医師 八重樫医師 第2・第4 田嶋医師 第1・第3・第5 遠藤医師
再診担当	菊地医師	田嶋医師	佐々木医師	智田医師	石川医師	
		智田医師	遠藤医師		八重樫医師	

診療時間

月曜日~金曜日	9:00~17:00
土曜日	9:00~12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14~16)・年末年始(12/29~1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL: 019-696-2055(代) FAX: 019-696-4185 http://www.i-seiwa.com

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又はバスセンター(構内3番)より 乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス 停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手 代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三] 向)経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分) バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三] 向)経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分) バス停より徒歩3分



重

●盛岡駅から車で20分

(国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン 左折後、500m左側)

●東北自動車道 盛岡南にから車で15分 (県道36号・国道396号経由 同上)

※無料駐車場完備